

男女共同参画連携推進会議企画委員会（第49回） 議事概要

1. 日 時 : 令和元年6月18日(火) 14:00~16:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎8号館5F 共用C会議室
3. 議 事 : (1) 最近の男女共同参画の動きについて
(2) 男女共同参画推進連携会議の取組状況について
(3) パンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために」の改訂について
(4) 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業の採択について
(5) 男女共同参画推進連携会議の今後の活動について
4. 出席者(五十音順) :
明石議員、飯田議員、石井議員、和泉議員、犬塚議員、大石議員、大崎議員、上林議員、徳倉議員、林議員、松永議員、山屋議員

(事務局)

池永内閣府男女共同参画局長、渡邊内閣府大臣官房審議官、栗田内閣府男女共同参画局総務課長、吉田内閣府男女共同参画局総務課企画官、上西内閣府男女共同参画局政策企画調査官

5. 議事概要

○最近の男女共同参画の動きについて

女性活躍加速のための重点方針2019などについて栗田総務課長から説明した。

○男女共同参画推進連携会議の取組状況について

全体の活動について飯田副議長から報告があった。また、各チーム会の報告として、明石議員より「経済分野における女性の活躍促進」チーム会について、徳倉議員より「次世代への働きかけ」チーム会について報告があった。

○パンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために」の改訂について

内閣府より、今年度のパンフレットの改訂方針について説明があった後、議員による意見交換がなされた。「男女共同参画社会に関する世論調査」の次回実施時期についての確認があったほか、第4次男女共同参画基本計画の達成状況を踏まえた上での2020年以降の展望についての質問、大学や図書館などへの配布についての要望、掲載データの表記や内容についての意見等があった。

○国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業の採択について

内閣府より今年度の共催事業の応募状況等について説明があった後、応募のあった5件の企画案について審査が行われ、5件の企画案が共催事業として採択された。また、より充実した事業とするための改善点などについて、意見が交わされた。

○男女共同参画推進連携会議の今後の活動について

次期の男女共同参画推進連携会議の活動の方向性について自由に議論を行い、「2年で4回の会合だと議論が深まりきらないので、2期連続で同じチーム会活動をするなど、テーマを深掘りできるといい。」「次世代の方に活動をバトンタッチしていくという視点が大切なので、次世代チームの活動が続けられていくといい。また、ワーク・ライフ・バランスの議論の中で介護の問題は見落とされがち。そういった視点も持って話し合うチーム会があるといい。」「特定の世代の男性にリプロダクティブヘルスライツや性的同意の意識を浸透させないといけない。この点は特に次世代チームで取り上げてほしい。若い人も経営層も意識が変わってきているが、意識が変わっていない中間管理職とのギャップが大きくなっている。ここをターゲットにした取り組みを経済チームで取り上げてほしい。」

「世界的な動きの中でジェンダー平等の重要性が共有されている。女性活躍の前提であるジェンダー平等の推進のため、国内外を繋ぐ活動があるといい。」「更年期と介護の問題は、出産育児などと比べてあまり大きく扱われないが、キャリアを続けていく上で大きな障害になっている。きめ細かい議論が今後重要になっていく。」などの意見が出された。

○最後に、今期を以て退任する議員と池永内閣府男女共同参画局長より、挨拶があった。

以 上